

公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

令和4年度 事業報告書

公1 景観まちづくり事業

住民主体のまちづくりの実現と、歴史都市・京都の美しい景観、良好な環境を具現化し、京都の都市としての品格を高めるとともに都市活力の向上に寄与することを目的とする。

1 各種情報の収集、発信及び啓発

(1) 広報活動事業

ア ニュースレター「京まち工房」

景観・まちづくりに関する各種情報、地域、関係団体等の活動状況、当財団の事業等を掲載した広報紙ニュースレター「京まち工房」を発行した。表紙にはイラストレーターとしてアトリエTAM (タム) 主宰、「町家えほん」、「福ねこお豆のなるほど京暮らし」を出版している山口珠瑛氏の京都の文化や歴史を描いたイラストを掲載した。賛助会員、関係団体、大学、区役所等に配架し、広く市民のまちづくりに対する意識を普及・啓発した。

- ・年4回発行（6月、9月、12月、3月） ・各号4,500部
- ・賛助会員、全国のまちづくり関連機関、京都府下大学等へ配布

号数	発行日	概要
第99号	R4. 6. 20	(特集) 京町家等のクリエイティブ拠点創出について京町家再生事例
第100号	R4. 9. 20	(特集) ニュースレター「京まち工房」100号の軌跡
第101号	R4. 12. 20	(特集) まちの魅力向上に向けた空間の再生と活用
第102号	R5. 3. 20	(特集) 京町家まちづくりファン見学会を開催しました

イ 財団ホームページ等

平成28年3月に新設した財団ホームページを活用し、当財団の取組や景観・まちづくりに関する最新情報を発信した。財団公式のフェイスブックページでは、イベント情報や当財団の活動状況等を積極的に発信することで情報力強化に努めた。

- ・財団ホームページアクセス件数 121,561件 (令和3年度末実績 89,486件)
- ・ひと・まち交流館内・センター (施設) ホームページアクセス件数 230,691件 (令和3年度末実績 258,721件)
- ・メールマガジン配信 18回 (令和3年度末実績 24回)
- ・メールマガジン購読者数 1,995人 (令和3年度末実績 1,916人)
- ・公式フェイスブックページ投稿数 43件 (令和3年度末実績 65件)

ウ 各種啓発冊子、技術資料等の販売

当財団が発行する書籍や受託販売書籍、京町家等組み立てキットなど、景観・まちづくりに関する各種啓発冊子等を販売した。

(7) 冊子等の販売

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| ① なるほど！「京町家の改修」 | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ② 京町家の再生 | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ③ 京町家物語 | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ④ Kyoto Machiya Restaurant Guide | (Judith Clancy) |
| ⑤ 町家型共同住宅設計ガイドブック | (京都市) |
| ⑥ 大学的京都ガイド | (株昭和堂) |
| ⑦ 京都・岡崎年代史 | (京都岡崎魅力づくり推進協議会) ほか |

(4) 京町家キット等の販売

- | | |
|---------------|------------------------|
| ① 京町家等の組立式キット | (株さんけい) |
| ② 京町家ポストカード | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |

(2) 景観・まちづくり大学等

住民の主体的な地域まちづくり活動の展開に向けて、住民が自らの居住する地域を理解し、魅力あふれる安心・安全なまちづくりを自らの役割として自覚し、地域ごとの具体的な課題解決に向けた取組を進める必要がある。

そのため、令和4年度は、引き続き、まちづくりの担い手育成を目指し、京都のまちの成り立ちや、様々な時代背景での人々の営み、その中で育まれたまちづくりの智慧など、まちづくりに取り組むうえでの基礎的な知識等を習得する講座を実施した。

京町家の保全・再生では、京町家の所有者、居住者を主な対象としつつ、居住や利活用を検討している方、京町家でのごくらしに関心を持つ方等にも参考となる、実践を重視したカリキュラムを中心とし、京町家の継承等に係る基本的な課題解決と京町家の魅力の普及を図った。

ア 京のまちづくり史連続講座

まちづくりに関心の高い市民、学生、専門家を対象に、京都の景観形成とまちづくりの歴史を学び、京都の景観形成に資するまちづくりに対する理解を深めた。

オンラインでの開催を基本とし、少数でのワークショップルーム受講を併用して実施した。

※全8回 有料 1回1,010円(通年受講は4,400円)

開催日	講座名	講師(敬称略)	出席者
R4.5.13	鴨川における景観の変遷	鈴木 康久(京都産業大学 現代社会学部 教授)	35
R4.6.10	戦後の改修計画から見る鴨川らしさ	林 倫子(関西大学 環境都市工学部 准教授)	31
R4.8.5	地藏盆とまちづくり	前田 昌弘(京都大学大学院 人間・環境学研究科 准教授)	34
R4.9.9	番組小学校とまちづくり一郡中(ぐんちゅう)小学校との比較から見えるもの一	林 潤平(京都市学校歴史博物館 学芸員)	29

開催日	講座名	講師（敬称略）	出席者
R4. 11. 18	京都の文化的景観	清水 重敦(京都工芸繊維大学 教授)	33
R4. 12. 16	路地から見る京都のまちづくり	森重 幸子(京都美術工芸大学 准教授)	35
R5. 1. 13	近代スプロールのつくる風景－京都伏見・中書島南新地を中心に－	清山 陽平(京都大学大学院 工学研究科 助教)	34
R5. 2. 3	オーバーツーリズムを越えて－観光・これからのまちづくり－	阿部 大輔(龍谷大学 政策学部 教授)	35
合計			266

イ 京のまちづくり史関連企画 まちあるき講座

歴史的な町並みや、実際に行われているまちづくりの取組を、そのまちを歩き、見て学ぶことで、まちづくりの対する理解をより深め、鴨川運河周辺のまちづくりの活動を手がかりに、地域の資源をどのようにまちづくりに生かしていけるか考える機会となった。

※全1回 有料 1回1,010円

開催日	講座名	講師（敬称略）	出席者
R4. 10. 29	堀川団地の歴史と空間、再生を学ぶ	土井 脩史(大阪公立大学大学院 生活科学研究科 講師) 生川 慶一郎(京都美術工芸大学 工芸学部建築学科 准教授)	13
合計			13

ウ 地域まちづくりセミナー

先斗町で行われている景観保全・空間創生・防災などの取組を、花街としての空間の変容を丁寧に捉えた「先斗町らしさ」の追求と、様々な主体が連携できる体制づくりという視点から整理しつつ、全国の花街の事例を交えて歴史や文化を軸としたまちづくりの可能性を探る講義を行った。

※全1回 有料 1回1,010円

開催日	講座名	講師（敬称略）	出席者
R4. 7. 12	花街の空間変容と保全 －先斗町における多主体連携のまちづくり－	松井 大輔(新潟大学 工学部 准教授)	21
合計			21

エ 京町家再生セミナー

主に京町家の所有者、居住者を中心として京町家に関心のある方を対象に、町家の暮らし、活用、継承への実践的知識を深めるため、京町家の維持管理、改修、活用、相続等について専門家による講義を行った。

事例見学会を除き、オンラインでの開催を基本とし、少数でのワークショップルーム受講を併用して実施した。

※全9回 有料 1回500円

開催日	講座名	講師（敬称略）	出席者
R4. 5. 26	京町家の円滑な継承	大倉英士(京町家相談員(弁護士)、 中京法律事務所)	32
R4. 6. 23	京町家でできることー新しくなった 「京町家でできること集」を傍らにー	京都市 都市計画局 建築指導部 建築審査課 ※無料	47
R4. 7. 29	京町家の活用事始め	青山幸司(京町家相談員(宅地建物 取引士)、株式会社八清)	25
R4. 8. 24	京町家の伝統的な外観改修のすすめ	栗山裕子(京町家相談員(建築士)、 WIN 建築設計事務所主宰) 中川 等(大阪産業大学建築・環境 デザイン学科 准教授)	34
R4. 9. 29	京町家から江戸町家へー東日本の町 家の系譜とその出自ー	大場修(立命館大学 衣笠総合研究 機構 教授)	47
R4. 10. 26	京町家の最新リノベ事情ー京町家の 保全と快適性・利便性ー	内田康博(京町家相談員(建築士)、 一級建築士事務所 内田康博建築 研究所)	39
R4. 11. 13	くらしに寄り添う京町家の庭ーイラ ストレーターのアトリエー	烏賀陽(うがや)百合(庭園デザイ ナー) ダイモンナオ(イラストレーター)	24
R5. 2. 24	京町家のメンテナンスー大事な家 を守るために気を付けるポイントー	木村紀晃 (京町家相談員(大工)一級建築士、 株式会社木村工務店)	20
R5. 3. 4	京町家で生け花をー京町家のくらし の文化体験ー	井山万里子(小原流京都支部)	14
		合計	282

オ 三都連携事業

三都連携事業は、京都市・大阪市・神戸市の住情報センターによる共同事業で、各都市の住情報センターに寄せられる相談等を共有し、今後の事業等に活用することを目的としている。

各都市が持ち回りで幹事を担当し、年1回程度、全体での勉強会等を開催している。令和4年度の当番都市は京都市であった。

令和4年度は「住みたいまちをつくる」をテーマに、安心・安全に住み続けられるまちづ

くりの取組や、若者・子育て世代が興味や魅力を感じ、京都への移住・定住ニーズを喚起させるような取組について勉強会と意見交換会をセミクロードで開催した。

- ・日 時：令和5年3月6日（月）10時～12時
- ・参加者：委員9名、事務局13名
- ・傍聴者：行政2名（京都市）、一般10名（地域の自主防災会長、空き家対策担当等）

カ 各種団体等との協働セミナー等

景観・まちづくりに関わる、地域、市民団体、職能団体、NPO法人、学会、他都市の中間支援組織等との協働により、セミナー等を共催した。

(7) 景観エリアマネジメント講座

まちづくりに関わる様々な分野の専門家を対象に、京都の景観に対する幅広い知識と高い見識を持つ人材を養成することを目的として、その知識を得るための基礎講座、フィールドワークを中心に地域での活動に必要なスキルを得るための実践講座をNPO法人京都景観フォーラムとの共催事業として開催した。

・基礎講座（全9回）

開催日	内容	講師（敬称略）	出席者
R4. 7. 9	基礎理論（1）	堀繁（東京大学大学院教授）	24
R4. 8. 20	基礎理論（2） WS：景観スキルの活かし方	宗田好史（京都府立大学大学院教授） 緊急事態宣言を受け中止。同時刻にオンラインでの特別講座を実施した	34
R4. 9. 17	景観と都市形成 WS：地域の調べ方	中嶋節子（京都大学大学院教授）	38
R4. 10. 15	まちとまちなみ WS：フィールドワークで情報収集→まちのことを調べてみよう（順番変更）	森重幸子（京都美術工芸大学准教授） 魚谷繁礼（魚谷繁礼建築研究所／京都工芸繊維大学特任教授）	19
R4. 11. 19	公共空間のデザイン WS：景観の課題抽出→まちを見てみよう（順番変更）	山口敬太（京都大学大学院准教授）	24
R4. 12. 24	京の生活文化	町田香（京都芸術大学非常勤講師） 谷晃（野村美術館館長） 笹岡隆甫（華道「未生流笹岡」家元）	22
R5. 1. 21	自然資源と観光資源の活用	深町加津枝（京都大学大学院准教授） 阿部大輔（龍谷大学教授） 村上佳代（文化庁文化財調査官）	25
R5. 2. 18	景観まちづくり・修了式	高田光雄（京都美術工芸大学教授）	22

・実践講座（全8回）

開催日	内容	講師（敬称略）	出席者
R4. 6. 18	オリエンテーション GW：資料の収集、課題の想定	—	10

開催日	内容	講師（敬称略）	出席者
R4. 7. 10	景観を理解する GW: 現地調査、課題設定	堀繁（東京大学大学院教授）	10
R4. 8. 6	先輩エリマネの事例 GW: ビジョンとプロセス検討 1	梅野星歩（梅鉢園） 前田弘二（立志社） 青山優子（美山ギャラリー甚弥）	9
R4. 9. 10	地域のまちづくり事例 GW: ビジョンとプロセス検討 2	長坂生人 （桂坂景観まちづくり協議会事務局長） 奥田朋子 （祇園新橋景観づくり協議会代表）	7
R4. 10. 8	GW 発表会 WS: 実践における課題と対策	—	10
R4. 11. 12	個人レポートゼミ 1	—	9
R4. 12. 10	個人レポートゼミ 2	—	8
R5. 2. 18	個人レポート発表会・修了式	—	受講 10 その他 聴講 22

(イ) 文化財マネージャー育成講座

京都市、NPO法人古材文化の会とともに「京都市文化財マネージャー育成実行委員会」を構成し、同委員会の主催により、歴史的建造物の調査・保存・活用やまちづくりを実践する文化財マネージャー（建造物）を育成することを目的とする「京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）」、及び文化財マネージャー（建造物）のスキルアップを目的とする「京都市文化財マネージャー育成講座スキルアップ講座」を開催した。

「第13期京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）」が、令和5年1月14日に開講した。（令和5年7月22日修了予定）

・第13期文化財マネージャー育成講座（建造物）

開催日	内容	講師（敬称略）
令和4年度開催		
R5. 1. 14	開講式・オリエンテーション 保存・活用概論 受講者・スタッフ自己紹介	中川等（NPO 法人古材文化の会） 高田光雄（京都美術工芸大学）
R5. 1. 28	民家建築	中川等（NPO 法人古材文化の会）
	京都市の文化財行政	牧山安弥子・石川祐一（京都市）
R5. 2. 11	近代和風建築	日向進（NPO 法人古材文化の会）
	歴史的建造物の継承と暮らし	秦めぐみ（秦家住宅）
	京都市登録有形文化財・秦家住宅 重要文化財・杉本家住宅の見学	
R5. 2. 25	寺社建築	菅澤茂（工学院大学）
	歴史的建造物の技法／瓦葺	寺本光男（瓦葺職）
	歴史的建造物の技法／左官	浅原一郎（左官職）
	修了課題、演習1の説明	

開催日	内容	講師（敬称略）
R5. 3. 11	文化財保護法	岡本 公秀（文化庁）
	演習 1 指定文化財の修理現場見学 大徳寺	竹下弘展（京都府）
R5. 3. 25	循環型社会と保存・活用	浅岡美恵（弁護士）
	保存・活用のマネジメント	宗田好史（京都府立大学）
	歴史的建造物の再生理念	藤岡龍介（建築家）
	観光活用とその課題	土橋聡憲（京都市）
令和5年度開催（予定）		
R5. 4. 8	庭園の様式	仲隆裕（京都造形芸術大学）
	近代洋風建築	石田潤一郎（武庫川女子大学）
	歴史的建造物の調査と評価	中川等（大阪産業大学）
R5. 4. 22	演習 2 歴史的建造物調査	建築家と京都市文化財マネージャー
R5. 5. 6	歴史的建造物の耐震補強	井上年和（京都美術工芸大学）
	保存活用と再生設計/構造設計	井手晃二（構造設計家）
	保存活用と再生設計/意匠設計	内田康博（建築家）
	演習 2 の中間報告 修了課題の中間報告	
R5. 5. 20	歴史的環境の整備	山崎正史（立命館大学）
	保存・活用とまちづくり /山田家住宅と醍醐	徳光都妃子（建築家・文マネ）
	保存・活用とまちづくり /旧三上家住宅と宮津	岩田信一（建築家・文マネ）
	演習 2 の講評、演習 3 の説明、 修了課題の中間報告	
R5. 6. 3	演習 3 保存・活用相談 建築家と京都市文化財マネージャー	
R5. 6. 17	建築基準法適用除外制度・景観法	（京都市）
	指物の技法	大谷普賢（伝統工芸士）
	演習 3 の講評 修了課題の中間報告	
R5. 7. 1	歴史的建造物と防災対策	益田兼房（日本イコモス国内委員会）
	歴史的建造物の継承と税金	辻本尚子（税理士）
	修了課題中間発表会	
R5. 7. 22	修了課題発表会 講座修了式・修了証書授与	

・文化財マネージャー育成講座スキルアップ講座

開催日	名称	講師（敬称略）
R5. 1. 24	歴史的建造物の調査を学ぶ講座 ※京都を彩る建物や庭園所有者交流事業との合同開催	京都を彩る建物や庭園 認定調査の成果発表 講師：永松 尚、北條順子、有井祥裕、青山優子 （京都市文化財マネージャー）

2 市民等の活動に対する総合的支援

(1) 地域活動支援

地域の魅力向上や課題解決に向けて、景観づくりやまちのルールづくり、防災まちづくりに取り組む地域を支援し、魅力あふれる安心・安全な地域づくりを進めた。

ア 景観・まちづくり相談

当財団職員が、自主的なまちづくり活動に取り組もうとしている地域に対して、様々なアドバイスや各種情報提供等を行い、活動の継続、活動内容の更なる充実につなげた。

相談・支援件数 332件（令和3年度 315件）

相談・支援内容	令和4年度 件数	令和3年度 件数
地域まちづくり活動、地域の現状等	95	187
マンション問題	12	19
当財団事業概要（まちづくり活動支援事業等）	2	4
景観・まちづくりに関するルール（式目、地区計画、地域景観づくり協議会、建築協定等）	78	51
法律、条例関係（都市計画法、景観法、建築基準法等）	43	45
防災まちづくり	137	159
まちづくりコーディネート事業	182	212
その他（地域課題、講座、学生対応、視察等）	24	64
合計	573	741

※ 相談・支援1件につき、複数の相談・支援内容を含む場合がある。

イ まちづくり専門家派遣

課題に応じて、まちづくりの専門家を地域に派遣し、地域活動を支援した。
※京都市からの委託事業における専門家派遣は別途記載

地区等	支援内容
中京区 梅屋学区	令和3年度に完成した「梅屋防災まちづくり計画」に基づき消火器のチェックシート・引き継ぎシート記載事項の検討及び作成について支援を行った。
中京区 本能学区	令和3年度に完成した「防災まちづくり計画」に基づき、総合防災訓練における「本能版避難所運営ゲーム（本能版 HUG）」の運営・進行の支援を行い、避難所運営マニュアルの改定に向けた方策の共有を図った。
東山区 今熊野学区	令和3年度に完成した「防災まちづくり計画」に基づき、防災まちあるき及びワークショップの取組への助言等を行った。
下京区 有隣学区	避難所運営マニュアルの作成支援及び防災まちづくりの具体的な取組への助言等を行った。

ウ まちづくり活動助成

まちづくり活動の立ち上げや継続的に取り組む地域に対して、運営活動費（活動広報物の作成や地域での勉強会の開催、地域景観づくり計画書の印刷）を助成する制度である。
今年度は、活用に対する相談はあったものの、申請には至らなかった。

地区等	支援内容
左京区 鞍馬二ノ瀬地区（鞍馬学区）	地区計画の広報に係る配布物の印刷、勉強会の会場費等について相談。（R5年度申請予定）

エ 専門家育成講座

令和4年度は、京都市が発行した夜間景観の指針（ガイドブック）を周知し、手法等を共有するため、夜間景観づくりの（連続）講座を企画していたが、日程等が折り合わなかったため、実施に至らなかった。

また、路地再生支援において、路地の再生を後押しする制度の運用が見直されたことから、上記同様、制度の周知と手法の共有を図るため、路地再生講座を検討している。

令和5年度中に専門家講座を実施し、専門家のスキルアップを図る。

オ 地域主体のまちづくり支援業務（京都市受託事業）

地域の多様な魅力と個性を生かし、新たな価値の創出に取り組んでいる地域や、地区計画や建築協定、地域景観づくり協議会などの制度を活用し、これからまちづくりを推進しようとする

る地域に対して、地域活動の充実を図るとともに、様々な都市計画制度の普及啓発と活用推進に向け、専門家派遣等の支援を行った。

令和4年度は、景観政策課が窓口となり、地域主体のまちづくり支援業務として契約を受託し、その枠組みの中で、景観政策課、建築指導課、まち再生・創造推進室、都市計画課に係るまちづくり支援を実施した。

(7) 景観づくり支援（景観政策課）

地域の個性を活かした魅力ある景観まちづくりを一層推進するため、各地域景観づくり協議会が実施する意見交換会等の活動、地域が行う夜間景観の検討の取組、地域景観づくり計画の策定に対し専門家の派遣を行い、今後の進め方などについて助言を行うとともに、情報収集や専門家への情報提供等の支援を行った。

① 各協議会及び今後制度活用を検討する地域への専門家派遣等の支援

地域景観づくり計画の策定や、各協議会が実施する意見交換等の活動、地域が行う夜間景観の検討の取組に対して、専門家の派遣を行った。

地区等	支援内容
上京区 笹屋町一丁目景観づくり協議会	専門家と協議会役員会に出席し、意見交換会での助言、及び町家の今後についての助言を行った。
中京区 先斗町まちづくり協議会	継続して取り組んでいる鴨川ライトアッププロジェクトを推進するため、専門家と協議会に出席し、夜間景観づくりの取組を円滑に進めるための調整、助言を行った。
右京区 嵐山まちづくり協議会	協議会役員会に出席し、地域の状況を把握するとともに、夜間景観づくりを進めるため専門家との調整を行い、地域の情報共有、資料の作成をおこなった。
伏見区 宇治川派流地区	専門家と協議に参加し、夜間景観づくりの取組の調整、実証実験の運営の補助をおこなった。

② 担い手づくり検討業務

多くの地域でまちづくりの担い手不足が課題となっているなか、新しい担い手が地域の自治組織との関係を築き、その地域で活動を行い、地域の景観・まちづくりの担い手となるプロセスの調査や、今後、それぞれの地域に関わる人が自分たちの地域に関心を持ち、主体的にまちづくりに参画することを推進するための調査・分析、企画の検討を行った。

調査対象地域	調査対象者	ヒアリング等
中京区	宇野商事	手がけている事業・買主や借主との関わり。地域との関わり。地域密着型不動産と京都の不動産について。

調査対象地域	調査対象者	ヒアリング等
東山区 六原学区	六原まちづくり委員会委員長	地域の活動への関わりの変遷と考えの変化。 地域活動と自身の関係の変化について。
下京区	そのうちカフェ	公園でカフェを開業した意図と経緯、開業後の感想等。
下京区 修徳学区	修徳まちづくり委員会事務局	修徳学区に住み、地域の活動に関わる経緯等と関わった感想。修徳の自治組織や土地柄について。
下京区 修徳学区	修徳まちづくり委員会元委員長	新たに地域でまちづくりの担い手となった方々との接点や印象、地域としての対応。 地域・住民との関係づくりと修徳の自治組織の継続可能性と課題等。
下京区 修徳学区	修徳まちづくり委員会委員長	修徳学区に住み、地域の活動に関わる経緯等と関わった感想。修徳の自治組織や土地柄について。
下京区	若山不動産	手がけている事業・買主や借主との関わり。地域との関わり。 地域密着型不動産業と京都の不動産業について。
下京区	イツツリアルティ	手がけている事業・買主や借主との関わり。地域との関わり。 地域密着型不動産業と京都の不動産業について。
下京区	若山不動産（追加調査）	（追加調査）まちづくりの担い手候補が地域密着型不動産屋とつながるための方法（客付の実態） 既存の移住サポートや空き家対策、行政のまちづくり施策などについての感想。
京都市 （中間支援組織）	京安心すまいセンター	安すまサポートの目的、経緯、その他制度、安すまパートナーと地域との仲介機能について。

③ 「京都市地域景観まちづくりネットワーク」の活動支援

京都市に認定された協議会で構成される「京都市地域景観まちづくりネットワーク」の定例会議の企画・運営を支援し、各地域間の情報及び課題の共有を行った。

京都市地域景観まちづくりネットワーク構成団体（計 14 地区）	
（上京区）	笹屋町一丁目景観まちづくり協議会
（中京区）	先斗町まちづくり協議会、姉小路界限まちづくり協議会、明倫自治連合会
（下京区）	修徳景観づくり協議会、膏薬辻子まちづくり協議会
（東山区）	西之町まちづくり協議会、一念坂・二寧坂 古都に燃える会 祇園新橋まちづくり協議会、祇園町南側協議会
（右京区）	仁和寺門前まちづくり協議会、京の三条まちづくり協議会、嵐山まちづくり協議会
（西京区）	桂坂景観づくり協議会

(イ) 建築協定等を活用したまちづくり専門家派遣（建築指導課・まち再生・創造推進室・都市計画課）

建築協定の締結又は地区計画の策定等を目指してまちづくり活動を行う地区を対象に、専門家を派遣し、地域住民の主体的な取組に対して支援を行うとともに、建築協定地区 6 4 地区が加入する京都市建築協定連絡協議会の活動支援を行った。

① 専門家派遣

新たに建築協定制度又は地区計画制度等の活用を検討する地域等へ、専門家の派遣を行った。

地区等	支援内容
左京区 松ヶ崎学区	自治連合会の三役が参加する三役会議及びコア会議で取組の方向性を検討し、実施した内容を理事会で共有した。各種団体長を対象としたアンケートや、各種団体長に若手の住民も参加したワークショップを実施し、松ヶ崎学区の固有の文化や価値について情報収集を行い、今後の学区全体での価値共有に向けて基礎調査等の支援を行った。
左京区 大原戸寺地区	地区計画を検討するため、アンケートによる住民の意向調査を行った。 まちづくり委員会の開催により、住民意向による地区計画の土地利用の方針や、地区計画で必要となる地区施設（道路）の整備について検討を進め、ニュースの発行による周知を行った。
左京区 下鴨塚本町	町内会長からの要請に基づき、建築協定の制度、特徴、締結までの流れと運用について説明する勉強会を実施した。
中京区 壬生賀陽御所町 （綾西町）	綾西町 元町内会長からの要請に基づき、建築指導課と共に、「建築協定、まちづくり協議会に関する勉強会」を実施した。

地区等	支援内容
東山区 祇園四条地区	毎月第2火曜日に開催される理事会に出席し、地区計画（変更）の基本方針の検討や今後の進め方の資料の作成および事前調査、地域景観づくり協議会制度における主体の検討と地域景観づくり計画書案の作成等を行い、円滑な合意形成に向けて支援を行った。
右京区 和のまち御室	住民向けの勉強会に出席し、建築協定の制度、特徴、締結までの流れと運用について説明を行った。 ・建築協定の制度について ・現行の建築協定書の内容について ・更新に向けた今後の進め方について

② 建築協定連絡協議会への活動支援

総会、役員会、研修会などの活動支援や、協議会の活動を対象とした補助金の交付を行った。また協定更新時における実質的な支援を行うため、更新時補助金制度の見直しの検討を行った。その他、物理的に近い地域や同じ課題を抱える地域などさまざまな接点を持つ「小規模ネットワーク」が折り重なって構成される地域間のネットワーク構造の構築を目的として「小規模交流事業」を実施した。

カ 防災まちづくり専門家派遣（京都市受託事業）

密集市街地内において防災まちづくりに取り組む地域に専門家を派遣し、防災まちづくり計画の策定や計画実現のための各種活動に対する支援を行った。

地区等	状況	支援内容
上京区 乾隆学区	防災まちづくり計画策定に向け取組中	「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 防災まち歩きやアンケート、ワークショップなどの取組を通して、地域の防災に対する機運の醸成や課題の共有を行うとともに、「防災まちづくり計画」の方針や実施する対策の検討などを行った。 (防災まちづくりの取組2年目)
東山区 粟田学区	4年度 防災まちづくり 計画策定	「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 自主防災部長や関係団体を対象としたワークショップ、防災まちづくりの取組のニュース配布を実施し、地域主体の防災まちづくりに向けて継続的に取り組み、防災まちづくり計画を策定した。 (防災まちづくりの取組3年目)
下京区 醒泉学区		「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 防災部長を対象とした意見交換会の実施や、ニュース等による周知・啓発等を行い、防災まちづくり計画を策定した。 (防災まちづくりの取組3年目)
上京区 出水学区	防災まちづくり計画策定済	「路地の防災まちづくり整備計画」の作成に向け、専門家を派遣した。 接道許可制度を活用した「再生が望ましい路地」2路線についての路地整備計画を作成した。 (防災まちづくりの取組7年目)

(2) 京町家再生支援

ア 京町家なんでも相談

京町家の保全、再生、活用について、京町家所有者・居住者の多くが様々な悩みを抱えている。本事業は財団の京町家事業の総合窓口として、相談者に寄り添い、悩みに対して複合的な課題の整理や具体的な方策を示すことにより課題解決につなげた。

(7) 一般相談 358件（令和3年度実績 416件）

当財団職員が一次対応として、相談内容に応じて各種公的制度、専門相談および団体紹介を行った。

(4) 専門相談 31件 ※自主事業5件、受託事業26件（令和3年度実績 53件）

大工、建築士、不動産事業者等の実務者による専門相談を行った。平成30年10月以降、専門相談は京都市委託事業「京町家相談員制度等の運用業務」として実施している。令和4年度に委託事業として実施した専門相談の件数は26件であり、自主事業とあわせ31件となる。

【相談項目内訳】 令和5年3月31日時点

相談項目	件数
改修・修繕	110
活用	66
賃貸	37
売買	31
耐震、防火	4
相隣問題	16
相続、所有権関係	9
維持・管理	20
資金、公的な支援制度	51
その他（視察、協力依頼、情報提供など）	125
京町家まちづくりファンド	32
京町家カルテ	23
京町家等継承ネット	23
合計	547

※複数選択のため、相談件数の合計とは一致しない。

(参考) 京町家等継承ネット事業としても相談対応を行っている。

※令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で相談会は開催を見送った。

(ウ) 京町家専門相談員

平成30年10月以降、専門相談は京都市委託事業「京町家相談員制度等の運用業務」として実施し、「京都市京町家相談員」と制度を新たにした。

令和4年度は、スキルアップ研修として、京町家まちづくりファンドで令和3年度および4年度に選定された京町家2件の京町家の見学会を実施した。12名（講師含む）の京町家相談員が参加した。

【スキルアップ研修開催概要】

開催日時

令和4年11月24日（木）15時～18時 ※任意の時間に見学

会 場

- ① プレマルシェ京町家@京都三条（令和3年度選定/改修工事完了）
（所在地：中京区三条通堀川西入橋西町（三条会商店街内））
- ② 白百合会の拠点（令和4年度選定/改修前）（所在地：中京区下八文字町）

講師（解説・案内）

会場①所有者：中川信男氏

設計担当：末川協氏（京町家相談員）、施工担当：大下尚平氏（京町家相談員）

会場②所有者：楠りつこ氏、設計/施工担当：株式会社中藏

京都市京町家相談員登録者数 91名（令和5年4月1日時点）

イ 京町家データベース

平成20～21年度京町家まちづくり調査によって調査した約48,000件の京町家等を元にIDを付与した京町家をエクセルファイルにて管理し、あわせてGIS（地理情報システム）を用いて、地図上にて地理的な情報として管理・出力している。

個々の京町家について、専門相談、京町家カルテ、京町家まちづくりファンド、建物調査報告書の作成等の相談・対応履歴を入力し、年度毎、個々の京町家に関する情報を一元的に管理する京町家データベースを運営している。

ウ 京町家等継承ネット

京町家等の適切な継承を促進することを目的として、平成26年11月21日、京町家継承ネット（代表 高田光雄 京都美術工芸大学教授、京都大学大名誉教授）が設立された。当財団は事務局として、京町家継承ネットを構成する京町家等の継承に関わる多くの団体、所有者や居住者とともに、京町家等の保全・継承に取り組んでいる。

令和4年度は、大型町家や景観重要建造物に値する京町家に対して積極的な相談対応を行うとともに、令和3年度に引き続き、国土交通省補助事業「令和4年度住宅市場を活用した空き家対策モデル事業」に採択され、「京町家等のクリエイティブ拠点創出に向けた企業誘致推進事業」と題し、京町家等の担い手となる入居者・事業者の掘り起こし、空き家所有者の利活用意向の醸成、支援専門家の育成を目的とした事業に取り組んだ。（補助金額175万円）

(7) 運営に関する行事

開催日	内 容	出席者
R4. 6. 23	京町家等継承ネット第9回全体会議（オンライン開催） ・前年度事業報告及び決算、今年度事業計画等の承認	33
R4. 4. 4	京町家等継承ネットコア会議 ・相談案件の情報共有、寄付受納案件や活用相談に関する意見交換等	6
R4. 4. 7	京町家等継承ネットコア会議 ・相談案件の情報共有、寄付受納案件に関する意見交換等	6
R4. 5. 31	京町家等継承ネット往訪相談 ・個別の活用希望者の相談案件に関する相談対応等	9
R4. 6. 9	京町家等継承ネット相談対応 ・個別の活用希望者の相談案件に関する相談対応等	5
R4. 6. 14	京町家等継承ネット相談対応 ・個別の相談案件に関する相談対応	5
R4. 7. 26	京町家等継承ネットコア会議 ・相談案件の情報共有、寄付受納案件に関する意見交換等	5
R4. 9. 13	京町家等継承ネット相談対応 ・個別の相談案件に関する相談対応	4
R5. 1. 13	京町家等継承ネット往訪相談 ・個別の相談案件に関する相談対応	7

(イ) 普及・啓発の取組

・活用事例に関連したトークセッションの開催及びアーカイブの公開

以下のトークセッションを開催し、収録した動画をポータルサイト「MATCH YA」を通じてYouTubeでアーカイブ公開し、普及・啓発に取り組んだ。

【トークセッション vol. 1】

テーマ：エリアイノベーションへの挑戦

登壇者：Yamauchi No.10 Family Office、Business Incubation Office

岡田 光 氏（マネージングディレクター）

森元 貴之 氏

吉村 直途 氏

（司会）柳沢 究 氏（京都大学大学院工学研究科准教授）

【トークセッション vol. 2】

テーマ：イノベーションを京都から

登壇者：山内 英貴 氏（一般社団法人京都ラボ代表者、株式会社GCI アセット・マネジメント代表取締役CEO）

井上 功 氏（株式会社リクルートマネジメントソリューションズ マスター）

（司会）柳沢 究 氏（京都大学大学院工学研究科准教授）

(ウ) 支援システムの開発に係る取組

① 大型町家継承モデルプロジェクト

(継承ネットにて相談対応を行った京町家相談案件 31件)

京町家なんでも相談等で受けた相談案件の大型町家について、京町家等継承ネットにて継承・活用提案や公的指定のため往訪相談及び活用提案を行った。

② 歴史的建築物の保全・継承に向けた公民連携による方策の意見交換会

京町家をはじめとした歴史的建築物の保全及び継承の一層の促進を目的として、公民連携による今後の方策について意見交換の場を設けた。京町家の市場流通状況と首都圏の活用希望事業者の意向などをもとに、実務的な解決策を検討している。

また、WEBサイト「MATCH YA」の拡充に向けた意見交換の場としても活用した。

【意見交換会】R4.12.19開催 (参加者18名)
議 題：京町家オフィスへのニーズと情報提供フローについて／相談案件の共有
話題提供：京都市産業観光局企業誘致推進室 岡田耕介課長
内 容：・京町家等の不動産情報のMATCH YAにおける集約について ・市場流通の動向と不動産所有者・事業者の意向について ・リノベーション済物件の流通について ・改修してオフィスとして貸し出すビジネスモデルの可能性について ・相談案件の共有

【参加者】

所 属		氏名 (敬称略)
京都美術工芸大学	教授	高田 光雄
京都府宅地建物取引業協会	情報提供委員会委員長	古田 彰男
都市居住推進研究会	運営委員	西村 孝平
京町家居住支援者会議	事務局長	吉田 光一
京都府不動産コンサルティング協会	副理事長	山下 善彦 岡本 慎太郎
京町家情報センター	幹事	井上 信行
都市計画局まち再生・創造推進室		
産業観光局企業誘致推進室		

③ 歴史的建築物の保全に向けた支援システムの開発

不動産情報ポータルサイト「MATCH YA」にて、令和3年度に整理した「京町家クリエイティブ拠点の魅力、留意点」を公開用にデータ化し、配布用にリーフレットも作成した。

④ 改修・活用事例の収集・紹介

住居兼研修施設、オフィス、店舗兼宿泊施設など、京町家の多様な活用事例をMATCH YAのSTORIESにて紹介した。京町家の総合相談窓口である事務局が取材を実施し、一部は建築士による取材や設計趣旨を掲載。新規の記事4件を制作し、現在14件を掲載している。14件

のうち4件については、京都市の海外向け WEB コンテンツに英文で転載され、海外にも発信されている。

京町家をクリエイティブ拠点として検討している首都圏の企業等に向けて、実在の京町家をモデルに活用方法の検討を行い、公開した。公開に向けて、モデル物件についての専門家との意見交換や、資金計画の検討などをおこなった。

⑤ 相談体制の強化

主に首都圏企業への効果的な情報提供を行うため、京都市産業観光局企業誘致推進室、東京事務所と個別、具体の相談への対応方法について協議を行った。その結果、活用希望者の希望条件などを、あらかじめ記載するシートを準備し、希望に沿った物件とのマッチングを促進することとした。また、随時、MATCH YA 登録事業者と連携して、活用希望者への不動産情報の提供や内覧に至るまでのサポートを行った。

エ 京都国際写真祭 KYOTOGRAPHIE との共催事業

京町家の魅力や創造性を国内外に広く周知する機会として、京都国際写真祭 KYOTOGRAPHIE と連携し、「MACHIYA VISION」展を開催した。展示やWEB 媒体での作品の発信により、京町家を新たに知り、居住や利活用を希望するクリエイティブ層の獲得を図ることを目的とした。

【開催概要】

【メイン会場 久保家邸宅】

日時：令和4年4月27日～5月8日（5月2日（月）除く） 全11日間
10時～17時（最終入場16時30分）

会場：久保家邸宅（旧今尾景年邸）（中京区六角通新町西入西六角町）

内容：久保家邸宅・今尾景年の資料展示、Machiya Vision デザインパネルの展示、
ダイアログ映像の上映、各インタビューまとめ資料の展示、各種資料等の配架
来場者数：1,507名

【Information Machiya 内会場 八竹庵（旧川崎家住宅）】

日時：令和4年4月9日～5月8日

会場：八竹庵（旧川崎家住宅）（中京区新町通六角上る三条町）

内容：川崎家住宅の歴史の展示、インタビュー映像の上映、Machiya Vision デザインパネルの展示、各種資料等の配架

オ 京町家の保全・継承に向けての動向調査

公益財団法人アーバンハウジングから受託し、京都美術工芸大学との共同研究により、京町家の保全・継承に向けて、所有者・居住者の状況、職能団体、市民活動団体、行政等の取組を横断的に調査・整理することによって、京町家を取り巻く現況を把握し、今後の保全・継承の支援の参考資料とした（令和3年度実施）。

令和4年度は、『都市・住宅団地の再生に関する調査研究』京都地区発表会にて研究内容を発表した。

『都市・住宅団地の再生に関する調査研究』京都地区発表会
日時：令和4年10月4日（火）18：00～21：00
会場：TKP ガーデンシティ京都タワーホテル（紫峰・白水9F）
主催：公益財団法人アーバンハウジング

3 各種団体等との交流及び協働活動

ワールド・モニュメント財団（WMF）との連携

ワールド・モニュメント財団との連携を継続するとともに、京町家の魅力と現代的価値を海外に情報発信することで、海外の諸支援団体とのネットワークの形成を図る。

令和4年度は、WMF関係者であり、中国で歴史保存活動を行う北京文化遺産保存センター代表者との視察及び協議を行った。令和5年度はWMF関係者の複数の来日を予定。

（参考）

京町家再生プロジェクト 第1期 釜座町町家（平成23年度）
第2期 旧村西家住宅（平成24年度）
第3期 四条町大船鉾会所（平成28～令和元年度）

<近年の実績>

H30.9 2018年ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞最優秀賞受賞
R1.9 2019年ベスト・イン・ヘリテイジで発表、優秀賞受賞

4 歴史的建造物の保全、再生、活用に関する各種の支援及び普及、啓発

(1) 歴史的建造物の再生、活用助成関連事業

京都の歴史及び文化の象徴であり、都市居住を支えてきた京町家を育み、未来に伝えるため、寄附金を積み立て、その運用により、京町家の保全、再生、活用を促進し、京都固有の暮らしの文化、空間の文化、まちづくりの文化の継承・発展と町並み景観の保全及び創造、さらには地域経済の活性化を図ることを目的として、京町家まちづくりファンドを運営する。

令和4年度は昨年度に引き続き、市民に開かれた場づくりやまちづくり活動に寄与する京町家の改修、町並みの保全の観点から通り景観の修景への支援を行った。

ア 京町家まちづくりファンド委員会運営

令和4年9月22日 第48回京町家まちづくりファンド委員会開催

令和5年3月31日 第49回京町家まちづくりファンド委員会開催

<令和4年度 京町家まちづくりファンド改修助成事業の選定について>

令和4年度は、京町家の改修1件、通り景観の修景1件を選定した。

- ・白百合会の拠点（中京区下八文字町）
- ・旧キンセ酒店と瓢箪路地の町家（中京区下樵木町）

各案件の状況については後述する。

イ 京町家まちづくりファンドの普及啓発事業

(7) 京町家まちづくりファンドWEBサイト及びSNSを活用した発信

令和4年度は、京町家の改修や通り景観の修景の改修助成事業の進捗状況や、各プロジェクトに関連するニュース等について、WEBサイト、Facebookグループページ及びInstagram (@kyoto_machiya_fund) にて発信した。

(4) 京町家まちづくりファンド報告会・見学会

京町家まちづくりファンドの取組について、寄附者、協力者へご報告することを目的に、郭巨山町会所で開催した。また、京町家相談員のスキルアップ研修と共催でプレマルシェ京町家@京都三条と白百合会の拠点で見学会を実施した。

【見学会概要】

【郭巨山町会所見学会】

日時：令和4年6月16日（木）

会場：郭巨山町会所（下京区郭巨山町）[令和3年度選定]

講師(解説・案内) 午前の部 設計担当：魚谷繁礼氏（魚谷繁礼建築研究所）

午後の部 所有者：平岡昌高氏（(公財)郭巨山保存会代表理事）

参加者数：82名

【プレマルシェ京町家@京都三条と白百合会の拠点見学会】※再掲

日時：令和4年11月24日（木）

会場：プレマルシェ京町家@京都三条（中京区橋西町）[令和3年度選定]

講師(解説・案内) 所有者：中川信男氏

設計担当：末川協氏（末川協建築設計事務所）

施工担当：大下尚平氏（株式会社 大下工務店）

会場：白百合会の拠点（中京区下八文字町）[令和4年度選定]

講師(解説・案内) 所有者：楠りつこ氏

設計/施工担当：株式会社 中藏

参加者数：68名

(ウ) 各種行事

KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2022 における展示を行い、京町家まちづくりファンドの寄附を呼びかけた。また、寄附者をプレオープンにご招待した。

「町家の日」の参加イベントとして、京町家再生セミナー「京町家で生け花を-京町家のくらしの文化体験-」を開催した。ファンド助成案件の井山邸を会場とした。

(I) 連携協定締結

一般財団法人日新電機グループ社会貢献基金、京都市、京都市景観・まちづくりセンターで、文化財の維持・保存・活用、京町家の保全・継承及びこれらのPRに関する事業についての連携協定を締結している。令和4年度は、令和3年度に引き続き、京町家の保全・継承に係る改修助成に対し、50万円のご寄附をいただいた。

(オ) ご寄付について

令和4年11月、京町家が滅失していくことに心を痛めた京都市在住の方より、1,000万円のご寄附をいただいた。また、令和5年2月には、当財団の活動や行事に参加された方より、約586万円の遺贈をいただいた。

(2) 京町家カルテ・京町家プロフィール・京建物カルテの作成

京町家の価値への理解を深め、保全・継承に繋げるため、京町家の歴史や文化的な価値をまとめた「京町家カルテ」、内容はカルテより簡易であるが、発行までの所要時間が短く低料金である「京町家プロフィール」を発行した。令和元年度からは、京町家以外の近代和風建築などに対して「京建物カルテ」を発行した。

京町家カルテ・プロフィールの追跡調査（令和2年度）を基にした調査研究について、令和3年度に大学と委託研究契約を締結し、令和4年度末に他府県都市の類似制度との比較及び京町家カルテ作成の有無による町家の外観意匠の変遷調査の報告書が提出された。

項目	令和4年度発行件数	令和3年度発行件数
京町家カルテ	3件	14件
京町家プロフィール	94件	96件
京建物カルテ	11件	7件

(3) 京町家に関する普及啓発業務(京町家カルテ簡易版の作成) (京都市受託事業)

所有者の京町家保全・継承に努める意識を醸成するため、京町家条例における個別指定京町家を対象として、京町家カルテの簡易版（個別指定京町家レポート）を作成した。

項目	令和4年度発行件数	令和3年度発行件数
京町家カルテ簡易版	4件	4件

(4) 建造物指定に係る調査資料作成業務 (京都市受託事業)

京町家条例における個別指定京町家のうち、景観重要建造物又は歴史的風致形成建造物等の指定候補となる京町家について、審議会に提出する諮問資料作成のための調査資料を作成した。

項目	作成件数
景観重要建造物候補	0
歴史的風致形成建造物候補	4
景観重要建造物及び歴史的風致形成建造物候補	2
合計	6

5 公共人材育成に関する教育及び研修

(1) インターンシップ受入

当財団を実務経験の場として提供し、大学での履修科目と実際の現場での実務経験を通して、公共的感性を持った人材を育成することを目的に、連携大学からインターンシップ履修生の受入れを例年実施している。

令和4年度は京都女子大学と受入準備をしたが、マッチングする学生が無く、開催に至らなかった。

(2) 視察受入

国内外の行政機関、大学等からの視察を受入れ、当財団の活動紹介等を行った。自主財源増加の取組として、賛助会員への加入を条件としている。

25団体

受入日	団体名	人数	内容
R4. 5. 11	神奈川学園高等学校	37	まちづくり
R4. 5. 19	筑波大学附属駒場高校	7	京都の歴史とまちづくり
R4. 6. 11	神奈川県川崎市金程中学校	8	都市の持続性をインフラ視点から学ぶ
R4. 6. 11	神奈川県川崎市金程中学校	7	都市の持続性をインフラ視点から学ぶ
R4. 8. 31	明治大学経営学部	11	京町家再生、地域まちづくり
R4. 9. 7	東京都杉並区立富士見丘中学校	5	まちづくり、環境問題
R4. 10. 7	京都府立朱雀高等学校	4	京町家について
R4. 10. 14	京都府立朱雀高等学校	6	京町家について
R4. 10. 8	JAIC 研修（立命館）	10	京町家の保全・継承
R4. 11. 1	京都府立朱雀高等学校	3	自然災害に対する建物の構造
R4. 11. 16	神奈川学園高等学校	56	まちづくり
R4. 11. 27	仙台市立仙台高等学校	36	住み続けられるまちづくり
R4. 12. 6	京都市立西京高校附属中学校	5	街並みの保存と発展の両立
R4. 12. 9	茨城県茗溪学園中学校	8	古い街並みの保全
R4. 12. 9	東京都東星学園高等学校	4	古い街並みの保存と都市として成長
R4. 12. 12	茨城県茗溪学園中学校	8	まちセンの具体的な活動事例
R4. 12. 12	宮城県綾町立綾中学校	17	京都と宮崎との町の特徴の違い
R4. 12. 26	ソウル市議会住宅空間委員会	18	京町家再生と地域まちづくりの取組
R5. 1. 9	新座市議会由臨会	5	住民・企業・行政のパートナーシップ
R5. 2. 6	城西国際大学	6	景観の保全、景観条例
R5. 2. 8	熊本県立大学	1	まちセンの具体的な活動事例

受入日	団体名	人数	内容
R5. 2. 15	静岡市立東中学校	20	京都と静岡の違い（建物、景観など）
R5. 3. 2	北海道学園大学	8	景観保全や京町家再生の取組
R5. 3. 9	上越市立浦川原中学校	6	京都の町並み、京町家を守る取組
R5. 3. 13	福井県あわら市立金津中学校	31	歴史を大切にしたい街づくり

(3) 講師派遣

講師派遣の依頼に応じて当財団職員を派遣し、当財団の活動紹介及び京都のまちづくりの歴史、地域の取組事例の紹介等を行った。

派遣日	派遣先	人数	内容
R4. 11. 15	京都女子大学	109	連携活動入門「まちづくりの担い手としての市民 京都のまちづくり」
合計		109	

6 景観整備機構に関わる関連業務

景観法に基づく景観整備機構として、景観重要建造物候補に値すると判断した京町家について、京町家なんでも相談や京町家まちづくりファンド助成事業等と連携し、景観重要建造物への指定を推進するとともに、建物の特性や所有者の意向に応じた他の公的指定（歴史的風致形成建造物、京都を彩る建物や庭園、国登録有形文化財等）への提案も行う。

また、相談等に応じてきた京町家等について、公的指定等に向けて継続的な支援を行っている。

【公的指定等に向けて継続的な支援を行っている物件数】

6件

7 京都市景観・まちづくりセンター管理運営

令和3年度から令和6年度までのセンターの指定管理者として選定された。センター来館者の増加、施設価値の向上を目的として以下の取組を行う。

- ・センター利用者数 44,074人（令和3年度末 22,787人）
- ・展示施設利用者数 30,393人（令和3年度末 24,938人）

(1) 京のまちかど展示コーナー

展示物やボランティアガイドによる京都のまちづくりの歴史や暮らしを紹介する。ボランティアガイド8名により概ね週3回はボランティアが配置できる体制を整備した。これを契機として、教育機関への働き掛けや積極的な広報活動により利用者の増加を図った。

- ・京のまちかど利用者数 30,393人（令和3年度末実績 24,938人）
＜利用者拡大に向けた取組＞
- ・関西文化の日（関西の博物館等の文化施設連携イベント）に参加
- ・第26回京都ミュージアムロードに参加

(2) 図書コーナー

ひと・まち交流館 京都 図書コーナーを運営している。

- ・所蔵資料数

内 訳	令和4年度末実績	令和3年度末実績
一般書籍	14,635点	14,552点
郷土資料	1,160点	1,116点
行政資料	1,017点	1,012点
視聴覚資料	302点	302点
雑誌	439点	447点
地図、絵本等	579点	559点
合計	18,132点	17,988点

- ・利用状況

内 訳	令和4年度末実績	令和3年度末実績
利用者数	13,193人	10,812人
利用者カード新規発行数	111枚	113枚
利用者カード延べ発行数	4,203枚	4,092枚
図書等貸出数	2,116点	2,354点

ア 巽和夫文庫の開設について

故・巽和夫氏（元京都大学名誉教授、都市住宅学会初代会長、元全国建築審査会協議会会長）の御遺族や有志による「巽和夫記念文庫プロジェクトチーム」（代表高田光雄京都大学大学院工学研究科教授）の御協力の下、巽氏が所蔵されていた資料2,105冊の蔵書を当財団に寄贈いただいた。これを広く市民の皆様に活用いただくため、ひと・まち交流館図書コーナーに「巽和夫記念文庫」を設置している。

イ 利用者拡大に向けた取組について

- ① 毎月4センターが交代で企画した「企画展示」を行っており、2週間ごとに季節や時事的話題に沿った題材で「ピックアップ」展示を行っている。
- ② ひと・まち交流館地下1階に設置されている国宝洛中洛外図屏風（上杉本）実物大複製パネルを活用し、屏風に描かれた室町時代の京都の四季とそこに暮らす人々の生活風俗を紹介する催し（ギャラリートーク）を行っている。

開催日	テーマ	出席者
R4. 4. 29	「応仁の乱 555 年 戦国時代を生んだ大乱」	34
R4. 7. 16	「足利将軍の見た祇園会」	30
R4. 10. 22	「京町家の基礎知識」	15
R5. 2. 4	「山門比叡山延暦寺と法華宗」	21

(3) まちづくり交流サロン

まちづくり交流サロンにおいて、京町家の構造などが分かる模型のほか、ミニチュアハウスと紙彩画の展示「着物づくりと京町家」を常設展示している。

また、様々な分野の人とつながり新たな交流の輪を広げるカフェ「The Base Mental Café」を令和4年10月から毎月1回開催した。

(4) まちづくり工房

コピー機、印刷機、紙折機、製本機等を設置し、主催、共催事業等での活用、登録団体への貸し出しをしている。

<稼働回数> 71回（令和3年度末実績 86回）

(5) ワークショップルーム

景観・まちづくり大学をはじめとする主催、共催事業等での活用のほか、登録団体への貸出しを行っている。令和4年6月から新たに使用料が設定された。使用料は860円/時間。

ワークショップルーム3は、令和4年6月に京安心すまいセンターが移転し、同センターの執務室となった。

<稼働回数>

ワークショップルーム1 201回（令和3年度末実績 228回）

ワークショップルーム2 275回（令和3年度末実績 345回）

公2 京町家保全再生事業

良質な地域コミュニティの形成と歴史都市・京都の景観の基盤を構成してきた、京町家等の伝統的建造物を保全・継承し、伝統的な京都の暮らしの文化を今に活かすとともに、歴史資産としてのストックと新たに形成される良質な建造物とが融合した京都らしい活力のある歴史的町並みの形成を目的とする。

京町家まちづくりファンド改修助成

京町家まちづくりファンド基本方針に基づき、京町家の再生・修復、通り景観の修景に係る工事等の活動に対し、改修費用の一部を助成した。

令和4年度交付実績： 令和3年度選定分 合計 3件

(吉田神楽岡旧谷川住宅群、郭巨山町会所、プレマルシェ京町家@京都三条)

以下、改修助成事業の状況を記す。

【令和3年度選定】

●郭巨山町会所（京町家の改修）

所在地 下京区四条通西洞院東入郭巨山町

事業年月日 令和4年 6月 竣工

令和4年11月25日 完了検査

令和4年12月23日 助成金交付済（助成金5,000,000円）

主な改修内容 下屋屋根・内部に面する主屋屋根の改修、外壁の改修、外構ポーチの改修
増築部分の外壁・木製建具・土間

令和5年4月郭巨山町会所は、2023年日本建築学会賞(作品)を受賞。

受賞者は、設計者の魚谷繁礼氏、魚谷みわ子氏、柳室純氏(構造設計)。

改修前



四条通側の外観



膏薬辻子側の外観

改修後



膏薬辻子側の外観



祇園祭の様子

● プレマルシェ京町家@京都三条（京町家の改修）

所在地 中京区三条通堀川西入橋西町

事業年月日 令和4年10月 竣工

令和4年10月14日 完了検査

令和4年11月10日 助成金交付済（助成金 3,946,000 円）

主な改修内容 屋根・表庇の改修、外壁の改修、建具の改修

- ・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で開店が遅れているため、子ども食堂のオープン時期は未定。
- ・「町家の日 2023」（3月4日～12日開催）に参加し、コンサートや体験イベントを開催。

改修前



三条会商店街側の外観



内部の様子

改修後



三条会商店街側の外観



内部の様子(2F)



伏見の町家から移設された「おくどさん」



『フェムケアお話し会と erico さんの「プラントベースミルク比較」』
『セルフケア講座と年間の心身の“温活”で免疫力を上げましょう!』
『京町家で音楽会』

「町家の日 2023」イベント内容

●吉田神楽岡旧谷川住宅群（通り景観の修景）

所在地 左京区吉田神楽岡町
事業年月日 令和4年3月 竣工
令和4年4月13日 完了検査
令和4年5月25日 助成金交付済（助成金 890,000 円）
主な改修内容 石垣、側溝の改修

石垣(改修前)



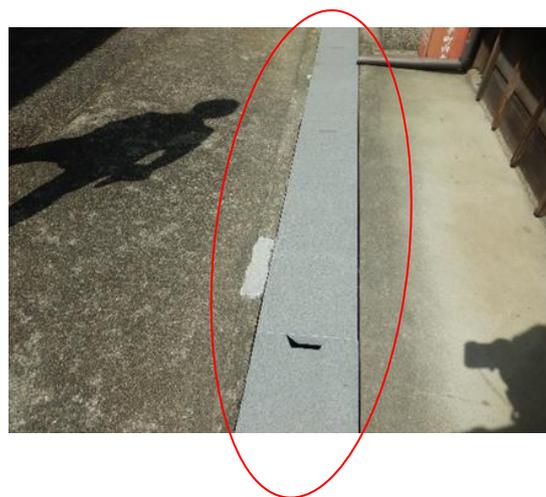
石垣(改修後)



側溝(改修前)



側溝(改修後)



【令和4年度選定】

●白百合会の拠点（京町家の改修）

所在地 中京区下八文字町

事業年月日 令和5年 7月 着工予定

令和5年12月 竣工予定

令和5年 1月23日 外観デザイン協議(オンライン)

令和5年 2月 7日 外観デザイン現地協議

主な改修内容 外壁の改修、建具の改修、室外機の修景

・社会福祉法人白百合会の「白百合会の拠点」改修事業は、外観を歴史的意匠に改修し、中学生の学習支援活動や地域の方々のコミュニティカフェなどを実施する予定。

改修前

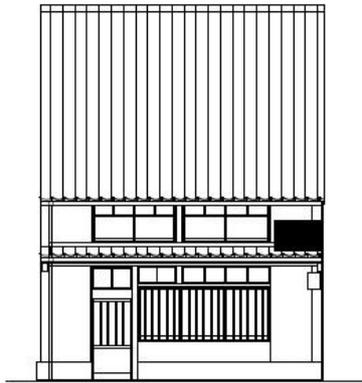


東側の外観

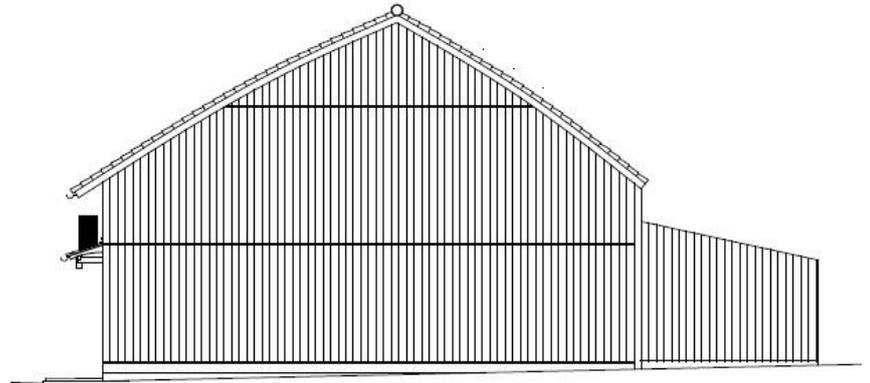


北側の外観

改修計画図



東側 立面図



北側 立面図

●旧キンセ酒店と瓢箪路地の町家（通り景観の修景）

所在地 中京区木屋町通四条上る二丁目下樵木町

事業年月日 令和5年 8月 着工予定

令和6年 3月 竣工予定

令和4年12月21日 外観デザイン協議(オンライン)

令和5年 1月 6日 外観デザイン現地協議

主な改修内容 大屋根・下屋屋根の改修、外壁の改修、建具の改修

・一部建物の景観重要建造物、歴史的風致形成建造物への指定に向けて、令和4年11月11日に建物調査を実施。令和5年度諮問予定。

・入居テナントの募集については、当財団の京町家等継承ネットにて支援。

改修前



木屋町通側の外観



瓢箪路地の様子

改修計画図



木屋町通側 立面図



瓢箪路地側 立面図

収益事業

京町家まちづくりクラウドファンディング支援事業

投資型クラウドファンディングを利用した京町家の改修を支援する事業として運営していたが、一般財団法人 民間都市開発推進機構及び京都市と協議の結果、令和4年度に基金の返還を行い、事業は終了した。

歴史的建造物利活用事業

京町家の利活用の更なる展開と町並み景観の維持向上を目指し、重要伝統的建造物群保存地区（祇園新橋地区）内の歴史的建造物を所有者である京都市から当財団が貸借し、民間の活力ある事業者へ貸し付けるサブリース事業に取り組んだ。

本事業推進のため、公募型プロポーザルを実施し、祇園新橋歴史的建造物利活用事業者選定委員会を開催した。

- ・令和5年3月24日 祇園新橋歴史的建造物利活用事業者選定委員会

法人運営

1 理事会・評議員会

理事会、評議員会等を下表のとおり開催した。

【理事会】

回	開催日	主要審議（報告）事項
第 39 回	R4. 6. 8	理事の選任について 令和 3 年度事業報告及び決算について 令和 3 年度資金運用結果について
第 40 回 (書面理事会)	R4. 6. 23	専務理事の選定
第 41 回 (書面理事会)	R4. 7. 27	第 2 1 回評議員会の開催について
第 42 回	R4. 9. 30	令和 4 年度事業計画及び収支予算の変更について 収支相償の確保に向けた取組方針について
第 43 回 (書面理事会)	R5. 1. 27	第 2 2 回評議員会の開催について
第 44 回	R5. 3. 14	令和 5 年度事業計画及び収支予算について 令和 5 年度資金運用計画について 公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター定款の変更について

【評議員会】

回	開催日	主要審議（報告）事項
第 20 回	R4. 6. 23	理事の選任について 令和 3 年度事業報告及び決算について 令和 3 年度資金運用結果について
第 21 回	R4. 7. 27	理事の選任について
第 22 回	R5. 3. 27	公益財団法人京都市景観・まちづくりセンターの定款変更について 令和 5 年度事業計画及び収支予算について 令和 5 年度資金運用計画について

【評議員選定委員会】

回	開催日	主要審議（報告）事項
第 6 回	R4. 7. 27	評議員の選任について 令和 3 年度事業報告について

2 賛助会員管理

賛助会員の拡大を目指し、当財団の事業活動を通じ積極的な呼び掛けを行っている。団体会員については、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、会員拡大のための企業訪問等は見合わせている。

平成28年から賛助会費が所得税の税額控除（従前は所得控除）対象となり、新規会員の拡大に努めている。

＜入会状況＞ 令和4年度末（令和3年度末）

種別	延べ人数、団体数	会費収入
個人会員	162人（173人）	980,000円（1,025,000円）
団体会員	18団体（20団体）	900,000円（1,000,000円）
	合計	1,880,000円（2,025,000円）

【参考】年間会費 個人（1口）5,000円、団体（1口）50,000円

3 職員研修の充実

職員の資質、能力向上を図ることを目的として、研修に参加している。

開催日	研修名	講師
R4. 4. 1, 5～7	新任職員研修	当財団職員
R4. 10. 3, 14	新任職員研修	当財団職員
R4. 10. 5	助成金活用支援者研修	京都市福祉ボランティアセンター
R4. 10. 11	公益法人制度運営セミナー	公益法人協会
R4. 10. 19, 20	会計セミナー「実務編」	公益法人協会
R4. 11. 1, 2, 7	新任職員研修	当財団職員
R5. 2. 16, 17	甲種防火管理者研修	日本防火・防災協会
R5. 1. 14～7. 22	第13期京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）	京都市文化財マネージャー育成実行委員会

まちづくりコーディネーター向けに、業務関連資格の取得奨励制度を設けている。

4 その他

環境改善の取組として、KES（環境マネジメントシステム）ステップ1を推進した。

環境改善項目	
省エネルギー化	電力使用量2%減（2021年度目標対比）
省資源化	事務用紙使用量削減26%削減（2021年度目標対比）
啓発活動	建物周辺の清掃（毎月1回平均9人以上の参加）
省エネルギー化	京町家カルテ・プロフィール及び京建物カルテ作成108件

